

# 令和2年度 事業報告書

大府福祉会基本理念

## 聴き、寄り添い、動く

私たちは、利用者・家族・地域などの「声」に耳を傾け、誰もが安心して暮らしていけるように、様々な福祉サービスを行います。そして、一人ひとりの想いに寄り添い、望む暮らしや生き方の実現に向けて必要な支援を行います。



社会福祉法人大府福祉会

# 法人事業一覧

□法人本部	〔組織〕 理事会 評議員会 評議員選任・解任委員会 苦情解決・虐待防止委員会 中長期総合計画策定推進委員会
＜施設支援事業＞	
◇あけび苑	生活介護事業 就労継続支援B型事業
◇計画相談支援事業所カラフル (令和3年3月31日 事業廃止)	特定相談支援事業 障害児相談支援事業
◇東あけび苑	生活介護事業 就労継続支援B型事業 居室確保事業
◇ひだまり	生活介護事業 居室確保事業
◇あけびの実	就労継続支援B型事業
◇たくと大府	生活介護事業 日中一時支援事業 居室確保事業
＜児童発達支援事業＞	
◇大府市発達支援センターみのり	児童発達支援事業 保育所等訪問支援事業 特定相談支援事業 障害児相談支援事業
＜地域生活支援事業＞	
◇ホームヘルプセンター「そら」	居宅介護事業 行動援護事業 移動支援事業
◇ホーム事業所「そら」	共同生活援助事業 ひいらぎホーム 若草ホーム 池之分ホーム ひまわりホーム はんつきホーム みのてホーム よしかわホーム くすのきホーム

次項以下、評価の説明

○ … 実施  
— … 中止

△ … 実施したが課題を残す  
× … 未実施

# 法人本部事業

## 【重点事項】

① 新たな給与制度導入に向けた準備を進める。	
令和3年4月施行の給与制度の作成及び導入に向けた準備を行った。	○
② 事務局内の担当業務を事務員間で共有し、合理的な遂行を目指す。	
給付費及び会計について業務の共有化を進めた。	○

法人名	代表者名	認可年月日	登記年月日
社会福祉法人大府福祉会	理事長 下村庄平	1985年1月9日	1985年1月25日
住所	〒474-0011 大府市横根町名高山78番地2 電話0562(85)5228 FAX0562(85)5229		
メールアドレス	obufukushikai1985@aroma.ocn.ne.jp		
ホームページ	http://www.obufukushikai.com		

事業の内容			開催	摘要	評価
会議の開催	評議員会 現員7名	7名出席 7名出席 6名出席	6月16日 12月2日 3月25日	令和元年度事業報告・収支決算等 令和2年度収支補正予算等 令和3年度事業計画・収支予算等	○
	理事会 現員6名	6名出席 4名出席 6名出席	5月28日 11月25日 3月16日	令和元年度事業報告・収支決算等 補正予算・助成金申請・規程改定等 令和3年度事業計画・収支予算等	○
	監事監査 監事2名	1名出席 1名出席	5月19日 5月19日	令和元年度事業監査 指摘無し 令和元年度会計監査 指摘無し	○
	管理者会議	8名出席	年間24回	事業の経営・運営の協議等	○
	副管理者・ リーダー会議	8名出席	年間6回	事業所の情報交換・調整等	○
	全事業所合同職員会議		3月2日	計画相談支援事業の体制について (リモートで実施)	○
委員会の開催	苦情解決・虐待防止委員会		7月30日	第三者委員に令和元年度状況を報告	○
	第4期中長期総合計画 策定推進委員会		3月3日	第4期中長期総合計画の中間総括と見直しを行う	○
	計画策定部会		年間4回	中長期計画の進捗確認・中間総括	○
	新事業部会		年間3回	新事業に関する計画の検討	○
	人材育成部会		年間10回	人材育成に関する計画の検討	○
	地域・広報部会		年間7回	地域・広報に関する計画の検討	○
法人主催 職員研修 の実施	段階別研修		年間10回	法人内の同段階の職員同士が、必要とされる学習を互いが良い刺激の中で受けて切磋琢磨し、法人全体の底上をはかる	○

	職種別研修	看護師 調理員 事務員	各職種 年1回	職種に必要な知識の習得や法人内の 課題の検討を行う	○
	全体研修		8月12日 11月17日	法人内実践発表会 虐待防止研修	○
人 事	人材の確保		適 時	必要に応じた職員採用を行う	○
情報の 公開	ホームページの公開		通 年	適時に更新	○
	機関紙の発行		年2回	関係者、公共施設に発行 1000部	○
	広報パネルの展示		—	コロナウィルス感染の影響で中止	—
法人独自の サービス	緊急時の一時預かり		緊急時	施設利用者 述べ9件に対応	○
	送迎サービス		通 年	施設利用者 69人利用	○
募 金	募金箱の設置		通 年	市内外の店舗や施設43箇所に募金 箱を設置	○
財 務	法人経営計画の運用		通 年	目標を達成することができた	○
相談会	第三者委員との相談会		2月26日	全事業所の利用者を対象にして4名 の相談を行う	○
啓 発	各種体験会の実施		適 時	市民向け勉強会を開催 コロナの影響で中止した事業がある	△

# あけび苑

## 【重点事項】

①生活班・就労班ともに低迷する授産活動の見直しを行い、収入の改善を目指す。	
新規1社と取引開始するとともに、自主製品の販売を開始したが、収入の改善には至らず	△
②生活班の利用者の「得意」を活かした日課・生産活動が提供できるように、調査・準備を行う。	
月1回のアート活動を手探りでを行い、苑玄関やスピカで展示。豊橋の作品展にも出品した。	○
③開所から35年経過し、古く使いにくいあけび苑内のトイレを改修して洋式化する。	
令和3年度に共同募金会の助成を受けて実施する計画に変更した。	△

## 《生活介護事業》利用定員：28名

利用者一人ひとりの障がい特性と個性を配慮し、ニーズを大切に、個々に応じた環境の中で適したプログラムを提供します。

## 《就労継続支援B型事業》利用定員：12名

利用者の個性やニーズを大切に、一人ひとりに応じた環境の中で、労働を通して自己の力を発揮し、やりがいを持って働けるように支援します。

## 【利用者実績】

(上段：生活介護事業 下段：就労継続支援B型事業)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31
開所日	22	20	22	23	18	21	22	20	20	18	20	23
延人数	629	573	645	657	506	590	628	574	591	522	572	650
契約者数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
開所日	22	20	22	23	18	21	22	20	20	18	20	23
延人数	251	220	249	264	213	240	262	230	233	209	226	272

## 【職員配置】

生活介護事業	就労継続支援B型事業
管理者（常勤兼務1名） 看護師（非常勤1名）	サービス管理責任者（常勤1名） 嘱託医（非常勤1名） 用務員（非常勤1名）
生活支援員（常勤8名、非常勤10名）	職業指導員（常勤1名）、生活支援員（非常勤1名） 目標工賃達成指導員（常勤1名）

## 【日課】

08:30 09:15 10:30 12:00 13:15 15:00 15:15 16:00

生活介護	着替え	朝礼	作業散歩	作業納品	食事休憩	班活動	掃除	着替え終礼	
就労継続	着替え	作業			食事休憩	作業	掃除・終礼 着替え		
09:00					12:15 13:15			15:30 16:00	

## 【就労支援事業実績】

### ○生活介護事業

収 入		支 出	
下請作業	1,049,729	給料	547,450
雑収入（預金利息等）	36	材料費・光熱水費等	236,808
		手数料・消費税等	6,468
収入合計	1,049,765	支出合計	790,726
		当期収支差額	259,039

### ○就労継続支援B型事業

収 入		支 出	
下請作業	1,630,597	給料	1,902,800
委託業務	322,165	材料費・光熱水費等	337,837
雑収入（預金利息等）	440	手数料・消費税等	4,400
補助金	465,000		
収入合計	2,418,202	支出合計	2,245,037
		当期収支差額	173,165

## 【取引先】

- |                |             |               |
|----------------|-------------|---------------|
| ○中央容器株式会社      | ○タツミ化成株式会社  | ○あいちリネン       |
| ○トーエイ株式会社      | ○幸伸株式会社     | ○株式会社マツミヤケミカル |
| ○柏木産業株式会社      | ○フジイ化工株式会社  | ○株式会社原製作所     |
| ○株式会社ダイコーゴム    | ○株式会社花井養鶏場  | ○株式会社吉見製作所    |
| ○株式会社SKM(コラビア) | ○大府ロータリークラブ |               |

## 【主な事業の実施内容】

### ○全体事業

大項目	小項目	時 期	摘 要	評価
祝 い	成人式	1月15日	利用者2名の成人を祝う	○
行 事	石ヶ瀬コミリンピック	—	コロナウィルス感染予防で中止	—
	福祉・健康フェア	—	コロナウィルス感染予防で中止	—
安全確認	総合防災訓練	3月18日	避難訓練・通報訓練・啓発ビデオ	○
健康管理	健康診断	6月19日	共和病院で尿・血液・血圧等の検査を実施	○
	歯科検診	10月1日	大府市歯科医師会の協力を得て実施	○
	予防接種	12月3日	インフルエンザ予防接種を希望者が接種	○
研 修	職員研修	通 年	年間10回予定、うち8回実施	△
	利用者研修	適 時	成人式他行事の主体的準備等	○
職員会議	定例会議、ケース会議等	通 年	各種会議を適時に開催	○
給 食	行事食、通常食	通 年	嗜好・栄養・衛生等に留意し実施	○
家族への支援	緊急時の支援	随 時	緊急時に家庭で介助できない際に対応	○
	家族会の開催	第2木曜日	3月に計画相談に関する研修会	○
	父親・兄弟研修	—	コロナウィルス感染予防で中止	—
招 待	福祉コンサート等	—	コロナウィルス感染予防で中止	—

○事業別事業

大項目	小項目	時期	生活介護事業		就労継続支援B型事業	
			摘要	評価	摘要	評価
作業活動	下請け作業	通年	コロナで激減	△	コロナで激減	△
就労支援		—		—	希望者なし	—
療育活動	各種体操	月3回		○		—
	音楽療法	第1・3火曜日		○		—
	絵画・創作活動	第3水曜日		○		—
宿泊実習		—	コロナで中止	—	コロナで中止	—
行事 その他	アダプトプログラム	通年	公園美化	○		—
	一泊旅行	—	コロナで中止	—	コロナで中止	—
	日帰り旅行	11/16, 19, 27	美浜町	○		—
		11/5, 10		—		名港水族館 ○
	カフェ会	—	コロナで中止	—		—
	レストラン会	—	コロナで中止	—		—
	勉強会	3月30日		—		時間のルール ○
お疲れ様会	—		—		コロナで中止 —	

# 計画相談支援事業所カラフル

## 【重点事項】

①管理・運営機能を強化する。	
相談支援専門員の配置を強化して運営を行った。	○

## 《特定相談支援事業》 《障害児相談支援事業》

福祉サービスの利用を希望する方に対し、サービス等利用計画の作成およびモニタリングを行い、一人ひとりの望む暮らしの実現につなげていきます。

また、法人内外の関係機関と連携し、地域で安心して暮らせるように、生活全般に係る様々な相談・助言・調整を行います。

## 【特定相談支援事業 実績】

契約者 144名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計画作成	20	4	1	2	1	3	3	3	2	4	10	5
モニタリング	18	32	29	35	27	17	28	25	31	32	26	28

## 【障害児相談支援事業 実績】

契約者 1名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計画作成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
モニタリング	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0

## 【日常的な事業内容】

支援内容	摘要	評価
計画作成及びモニタリング	サービス等利用計画の作成及びモニタリング	○
生活全般に係る相談	利用者及び家族からの相談への対応	○
サービスの情報提供	障がい福祉サービス等に関する情報提供	○
関係機関との調整	障がい福祉サービス等に係る諸機関との調整 大府市障がい者相談支援センターへの移行へ向けた調整	○

## 【職員配置】

管理者（常勤1名）	相談支援専門員（常勤1名）
-----------	---------------



# 東あけび苑

## 【重点事項】

①新利用者4人の個々に合わせた日課の提供と各班の活動の検討・見直し		
新利用者4人のそれぞれにあった日課と特性に合わせた作業を検討のうえ実施した。 作業室内の空間の構造化を行ったことにより、落ちつた日課が提供できるようにした。		○
②利用者増に伴う各班の作業量、作業内容の見直し検討		
コロナの影響もあり、作業量が激減したため、施設内で作業量、作業内容の見直しの調整をした。利用者増に伴う作業量の確保まではできていない。		△

《生活介護事業》 利用定員30名

利用者の長所に着眼し、個々に応じたグループの中でニーズを大切にしたい支援プログラムを提供し、より楽しく充実した日中活動ができるように支援します。

《就労継続支援B型事業》 利用定員10名

日々の作業活動を通じ、地域社会の一員として誇りを持って暮らしていけるように支援します。

## 【利用者実績】

(上段：生活介護事業 下段：就労継続支援B型事業)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	31	31	31	31	31	30	30	30	30	30	30	30
開所日	22	20	22	23	18	21	22	20	20	18	20	23
延人数	633	590	635	649	532	587	619	550	564	499	517	640
契約者数	10	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9
開所日	22	20	22	23	18	21	22	20	20	18	20	23
延人数	212	161	196	199	160	186	194	172	177	162	174	205

## 【職員配置】

生活介護事業	就労継続支援B型事業
管理者(常勤1名) 調理員(非常勤2名)	サービス管理責任者(常勤1名) 嘱託医(非常勤1名) 看護師(常勤兼務1名)
生活支援員(常勤6名、非常勤3名)	職業指導員(常勤1名) 目標工賃達成指導員(常勤1名) 生活支援員(非常勤1名)

## 【日課】

	9:00	10:30	10:40	12:00	13:00	14:30	14:45	15:30	16:00
生活介護	朝礼・作業 療育他	休憩	作業 療育他	昼食 休憩	作業 療育他	休憩	療育他	掃除 終礼	帰宅
就労継続	朝礼 作業	休憩	作業	昼食 休憩	作業	休憩	作業		
	9:00	10:30	10:40	12:10	13:10	14:30	14:45	15:30	16:00

○生活介護事業

収 入		支 出	
下請作業	1,718,961	給料	2,770,200
雑収入（預金利息等）	2,978	材料費・光熱水費等	221,011
		手数料・消費税等	64,070
収入合計	1,721,939	支出合計	3,055,281
		当期収支差額	-1,333,342

○就労継続支援B型事業

収 入		支 出	
下請作業	4,342,751	給料	1,947,590
雑収入（預金利息等）	554	材料費・光熱水費等	643,411
補助金	500,000	手数料・消費税等	137,562
収入合計	4,843,305	作業指導員給与	1,861,000
		支出合計	4,589,563
		当期収支差額	253,742

【取引先】

○株式会社松尾製作所 ○株式会社カワグチ ○タツミ化成株式会社 ○株式会社型善  
○大府市地域婦人団体連絡協議会 ○株式会社ダイコーゴム ○前田産業株式会社

【居室確保事業実績】 ○件

【主な事業の実施内容】

大項目	小項目	時期	摘要	評価
作業活動	下請け軽作業	通 年	年間を通じ、比較的安定した作業活動を実施	○
	受注・委託作業等		作業の特徴を踏まえ、受注を調整して実施	○
就労支援		—	希望者なし	—
療育活動	リフレッシュ活動	適 時	散歩・運動・創作活動などを実施	○
	音楽療法・体操	通 年	専門講師を招き、定期的実施	○
親 睦	歓迎会	4月9日	新利用者4名と新職員との交流 コロナ対策として会食は家族の参加なし	○
	一泊旅行	—	コロナウイルス感染予防で中止	—
	日帰り旅行	—	コロナウイルス感染予防で中止	—
社会生活 学 習	避難訓練	年2回	火災・地震を想定し、訓練を実施	○
	総合防災訓練	3月9日	避難訓練・消火器体験	○
	宿泊実習	—	コロナウイルス感染予防で中止	—
	交通安全対策	5月～6月	事故防止のため同行指導等により実施	○
地域啓発 ・ 地域交流	北山区民運動会	—		—
	北山夏祭り	—	コロナウイルス感染予防で中止	—
	北山公民館祭り	—		—
	共和東保育園との 交流会	—	コロナウイルス感染予防で中止	—
	東あけび苑 フェスタ	—	コロナウイルス感染予防で中止	—
	芸能祭	—	コロナウイルス感染予防で中止	—

健康管理	健康診断	6月22日	共和病院で尿・血液・血圧等の検査を実施	○
	歯科検診	10月1日	市内歯科医師会の協力により実施	○
	予防接種	12月8日	インフルエンザ予防接種を希望者が接種	○
職員研修	内部研修	通年・適時	法人内研修会・苑内自主勉強会等を実施	○
	外部研修	通年・随時	県福祉協会・県社会福祉協議会等関係団体により企画・開催される研修会に参加	○
職員会議	定例会議	毎週火曜日	事業の検討・情報共有を目的に毎週実施	○
	個別支援計画会議 ケース会議等	適時・通年	支援の考察に係る様々な意見提供・検討を目的として開催	○
給食	行事食・通常食	通年	嗜好・栄養・衛生等に留意し、実施	○
家族への 支援	緊急時の支援	随時	家族の緊急時に一時預かりを実施	○
	家族会の開催	第2木曜日	家族同士・職員と家族が相談・協議	○
	個別面談	適時	生活と利用意向の把握を目的として実施	○
	家族会研修会	—	コロナウィルス感染予防で中止	—

# ひだまり

## 【重点事項】

① 個々の利用者の状況にあった過ごし方や活動を再検討し、日課を充実させる。	
コロナ禍での過ごし方を模索したり、新利用者に適した過ごし方を検討したりした。	○
② 地域交流や地域貢献を意識した活動を検討する。	
新型コロナウイルス感染症のため交流は出来なかったが、創作活動で地域に向けたメッセージ作品を作り啓発する等、コロナ禍で出来る地域貢献に取り組んだ。	△

## 《生活介護事業》利用定員20名

知的に障がいのある方の加齢に伴う様々な課題（作業の質や量・生活のリズムや健康維持・対人関係・生きがい等）に対応することを目的とし、各人の状態にふさわしい活動を行い、生きがいを得る事が出来るよう配慮し、働きかける。

また、社会の構成員として地域の中で様々な資源を利用し、市民と関わり合いながら、そして安心して暮らせるよう、地域社会への働きかけをする。

## 【利用者実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	18	18	18	17	17	18	18	18	18	18	18	18
開所日	22	20	22	23	18	21	22	20	20	18	20	23
延人数	338	308	325	334	274	332	352	292	297	253	273	336

## 【職員配置】

管理者（常勤兼務1名） サービス管理責任者（常勤兼務1名）  
 生活支援員（常勤4名、非常勤4名） 看護師（非常勤1名） 嘱託医（非常勤1名）

## 【日課】

8:30	10:00	10:30	11:40	12:00	13:00	15:00	15:30
送迎 身支度	朝礼 散歩 体操	諸活動	口腔 体操	昼食 休憩	諸活動	休憩 身支度 終礼	送迎

【就労支援事業実績】

収 入		支 出	
下請作業	202,220	給料	151,100
雑収入（預金利息等）	195,449	材料費・光熱水費等	74,950
		手数料・消費税等	16,649
収入合計	397,669	支出合計	242,699
		当期収支差額	154,970

【取引先】

○株式会社折武    ○株式会社石川商店    ○トーエイ株式会社

【居室確保事業実績】    2件

【主な事業の実施内容】

大項目	小項目	時 期	摘 要		評 価
作業活動	下請け軽作業	通 年	割り箸の袋入れ		○
	自主製品等 その他	適 時	石鹸づくり		○
			あけびの実クッキーの配達		○
		通 年	自動販売機管理		○
諸活動	健康維持活動	通 年	介護予防体操・口腔体操・散歩		○
	社会的活動	通 年	買い物・喫茶・公共施設利用		○
	文化的活動	通 年	創作・絵画・音楽		○
行事活動	歓迎花見会	—	コロナウィルス感染予防で中止		—
	イベント招待等	—	コロナウィルス感染予防で中止		—
	日帰り旅行	10月20日 10月23日 10月27日 10月30日	味の蔵たけとよ	親睦と見聞を深め、心身のリフレッシュを目的とする。グループごとに実施	○
	お楽しみ会交流会	隔月	ボランティアによる楽器演奏等の芸能を楽しむ		○
	福祉・健康フェア	—	コロナウィルス感染予防で中止		—
	喫茶会	3月26日	コロナウィルス予防のためひだまり内で開催	親睦を深め、心身のリフレッシュを目的とするとともに、地域資源の活用体験の機会として実施	○
	クリスマス会	12月25日	季節を感じつつ親睦を深めるために実施		○
	新年会	—	コロナウィルス感染予防のため中止		—
	誕生日会	第3木曜日	誕生日を迎えた利用者のお祝いを実施		○
	健康管理	健康診断	6月30日	共和病院で尿・血液・血圧等の検査を実施	
歯科検診		10月1日	市内の歯科医師会の協力による歯科検診を実施		○

	予防接種	10月22日	希望者にインフルエンザ <sup>※</sup> 予防接種を実施	○
	検温・血圧 体重測定	適時	定期的に測定し、健康状態の把握に役立てる	○
危機 管理	避難訓練	隔月	火災・震災時を想定した体験学習を実施	○
研修	職員研修	随時	内部研修及び外部関係団体等の研修会に参加	○
会議	職員会議	毎週火曜日	事業の検討・利用者支援の考察・検討を実施	○
給食	通常食・行事食	通年	委託業者等と連携し、質・量等健康対策に留意して実施	○
家族 支援	緊急時の支援	随時	今年度はなし	—
	家族会の開催	隔月	家族同士・職員と家族が相談・報告・協議	○

# あけびの実

## 【重点事項】

①利用者の増員に対応出来る体制作りを行う。		
次年度1名の利用者を受け入れる体制を整えた。		○
②工賃の向上に向けて売上の増加を目指す。		
コロナウィルス感染拡大の影響で十分な結果を出すことが出来なかった。		△

## 《就労継続支援B型事業》 利用定員：20名

利用者が街で地域社会と関わりながら働くこと、働き賃金を得ることが豊かな生活につながることを、そして自らの将来を考えた自己成長ができるように支援する。

## 【利用者実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
開所日	22	20	22	23	18	21	22	21	20	18	20	23
延人数	348	314	352	361	285	334	350	333	316	285	313	368

## 【職員配置】

管理者（常勤兼務1名） 職業指導員（常勤1名） 目標工賃達成指導員（常勤1名）	サービス管理責任者（常勤1名） 生活支援員（非常勤3名）
---	---------------------------------

## 【日課】

	08:30	09:00	10:30	12:00	13:00	14:30	15:30	16:00
着替え	作業			食事休憩	作業			掃除 終礼 着替え
	作業		出張販売	食事休憩	作業			

## 【就労支援事業実績】

収入		支出	
下請作業	4,330,890	給料	6,258,060
販売作業	8,893,158	材料費・光熱水費等	6,074,202
雑収入（預金利息等）	144	手数料・消費税等	527,868
補助金	500,000	積立金	1,000,000
収入合計	13,724,192	支出合計	13,860,130
		当期収支差額	-135,938

## 【取引先】

- 株式会社松尾製作所
- 住友重機械工業株式会社
- 日多加産業株式会社
- 大府東高校
- トーエイ株式会社
- おおぶ文化交流の杜
- ラ・ファルファアラ
- 共和保育園
- 株式会社豊田自動織機（大府工場・共和工場・長草工場）
- 愛三工業株式会社
- 株式会社サガミチェーン
- 大府市（市内各保育園）
- 株式会社名古屋多田精機
- 株式会社魚初（至学館大学内Yショップ）
- 株式会社オルカレストランシステム

## 【主な事業の実施内容】

大項目	小項目	時期	摘要	評価
作業活動	ベーカリー作業	通年	パン・クッキー・パウンドケーキの製造	○
	組み立て作業		自動車部品の簡易な下請け軽作業	○
販売活動	店頭・出張・委託販売	通年	店頭及び様々な事業所、催し先での販売 コロナウィルス感染予防のため一部中止	△
就労支援	一般企業就労支援	—	希望者なし	—
行事	親睦旅行	—	コロナウィルス感染予防のため中止	—
	日帰り旅行	10月30日 11月13日	公用車と定期船を利用し日間賀島へ行き、屋外観光を中心に実施する	○
	忘年会	12月28日	施設内でテイクアウトの料理を楽しみながら、1年を振り返り親睦と作業意識を深めた	○
	フリープランレク	随時 8月11日 8月12日	施設内で映画鑑賞 施設内で夏祭り 施設内で映画鑑賞とスイカ割り	○
招待	福祉コンサート	—	コロナウィルス感染予防のため中止	—
健康管理	健康診断	7月1日	共和病院にて健康状態を検査する	○
	歯科検診	10月1日	歯科医師会の協力を得て希望者が検診	○
	インフルエンザ予防接種	12月2日	希望者にインフルエンザ予防接種を実施	○
	検便	2回実施	食品製造従事者に義務付けられている検便を全員年2回実施する	○
研修	職員研修	通年	法人内部研修・外部関係研修に適時参加	○
	利用者研修	3月26日	職員が講師となり「接客」について学ぶ	○
職員会議	定例会議、ケース会議等	通年	1年を通して各種の会議を適時に開催	○
給食	通常給食・自由昼食	通年	休業で給食提供出来ない日は自由給食として近隣の飲食店やコンビニ弁当を楽しむ	○



社会 貢献	貸 館	随 時	店舗スペースを市民活動団体に貸し出す 2団体が月1回ずつ利用する	○
安全 確認	総合防災訓練	3月9日	消火器使用訓練や消防署員による講話を聴く	○
	避難訓練	7月20日 9月2日	火災・震災時を想定した避難訓練や避難場所 の確認、非常食の体験を行う	○
家族 支援	緊急時の支援	随 時	緊急時に家庭で介助できない際に一時的に預 かる。今年度要請なし	○
	家族会の開催	7・9・3月	家族同士の相談、事業所からの報告、協議 する場として、適時開催する	○
	家族会研修会	—	コロナウィルス感染予防で中止	—

# たくと大府

## 【重点事項】

①新しいグループ活動「お茶会」の定期的な実施と定着を図る 緊急事態宣言等で中止もあった。	△
②朝礼最後に団結の掛け声をみんなで行い、チームの結束力を高める 毎日欠かさず実施することができ、チームの結束力を高めることができた。	○
③作業時に取り組んでいる自立課題を充実させる（日中一時支援事業） 生活介護で使っている自立課題を共有したり新規に作成し充実させることができた。	○

## 《生活介護事業》利用定員：30名

地域で暮らしていくことに様々な配慮が必要な方に対し、情緒の安定を第一に考え、安心して過ごせる場所とプログラムを提供します。

## 【利用者実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
開所日	20	20	22	23	18	21	22	20	20	18	20	23
延人数	524	480	530	549	434	509	530	482	484	428	473	547

## 【職員配置】

管理者（常勤兼務1名）	サービス管理責任者（常勤兼務1名）
生活支援員（常勤8名、非常勤8名）	看護師（非常勤1名） 嘱託医（非常勤1名）

## 【日課】

08:30	09:15	10:30	12:00	13:15	15:00	15:15	16:00
着替え	朝礼	作業 散歩	作業・ 納品等	食事 休憩	自立課題活動 療育活動等	掃除	着替え 終礼

## 【就労支援事業実績】

収 入		支 出	
下請作業	2,832,954	給料	1,768,000
雑収入（預金利息等）	71	材料費・光熱水費等	148,360
		手数料・消費税等	186,242
収入合計	2,833,025	支出合計	2,602,602
		当期収支差額	230,423

【取引先】

- 株式会社マツミヤケミカル      ○株式会社カワグチ      ○フジイ化工株式会社  
 ○タツミ化成株式会社      ○株式会社松尾製作所

【居室確保事業実績】 2件

【主な事業の実施内容】

大項目	小項目	時期	生活介護事業	
			摘要	評価
生産活動	受託作業活動	通年	取引先企業より作業を受託する	○
グループ活動	スリム体操	週1回	多目的ホールを使い定期的実施	○
	サーキット運動	月2回	多目的ホールを使い定期的実施	○
	バランスボール運動	月2回	多目的ホールを使い定期的実施	○
	3B体操	月1回	専門講師に依頼して実施	○
	ミックススポーツ	月2回	専門講師に依頼して実施	○
	音楽療法	月2回	専門講師に依頼して実施	○
	絵画活動	月1回	専門講師に依頼して実施	○
	おかしバイキング	月2回	多目的ホールを使い定期的実施	○
	お茶会	年4回	緊急事態宣言等で中止もあった	△
自立課題	自立課題活動	通年	机上で行う自立活動の実施	○
社会生活学習	宿泊実習	—	コロナウイルス感染予防のため中止	—
行事	歓迎会	—	コロナウイルス感染予防のため中止	—
	鑑賞会	12/4、12/10、12/15	半田赤レンガ建物を見学	○
	たくとBBQ	11/3、11/11 3/23、3/24	たくと大府テラスにて開催	○
	たくと大府フェスタ	—	コロナウイルス感染予防のため中止	—
	一泊旅行	—	コロナウイルス感染予防のため中止	—
	レストラン会	—	コロナウイルス感染予防のため中止	—
	成人式	—	該当者なしのため今年度は開催せず	—
安全確認	総合防災訓練	2/16	消火器使用実施訓練等	○
健康管理	健康診断	7/3	共和病院で尿・血液等の検査を実施	○
	歯科検診	10/1	大府市歯科医師会の協力を得て実施	○
	予防接種	12/7	インフルエンザ予防接種を希望者が接種	○
研修	職員研修	通年	自閉症支援に関する研修を実施	○
職員会議	定例会議、ケース会議等	通年	一年を通して各種の会議を適時に開催	○
給食	通常給食	通年	栄養バランスの取れた給食を提供	○
家族支援	緊急時の支援	随時	緊急に家庭で介助できない際に対応	○
	家族会の開催	月1回	一年を通して会議を開催（一部中止）	○

《日中一時支援事業》利用定員：10名／日

支援が必要な知的障がい児・者を一時的に預かり、利用者のニーズに応じた活動プログラムを提供し、活動を通して余暇の充実を図ります。また、これらを通して、家族の生活の安定の一助となることを目的とします。

【利用者実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	20	20	19	19	19	20	20	20	20	20	20	21
開所日	21	18	22	21	18	20	22	19	20	18	18	23
延人数	103	92	113	116	95	127	138	135	137	128	130	143

【職員配置】

生活支援員（常勤1名、非常勤10名）
--------------------

【日課】

15:00	16:00	16:30	17:00	17:40	18:30
送迎	着替え 始まりの会	作業 買物・おやつ	自由時間	送迎	

# 地域生活支援センター「そら」

## 【重点事項】

①ヘルパーの確保に向けて、引き続き、より積極的に具体的な取り組みを行う。		
コロナの影響で具体的な取り組みは行えなかったが、学生へのアプローチや資格制度の検討を行った。		○
②利用者・家族の変化等に対応するため、グループホームの週末の支援体制を強化する。		
はんつきホームの週末支援体制とひまわりホームの週末支援体制の強化を図った。		○
③増加し続けるグループホームのニーズに対応するため、スタッフの確保と定着を目的に、ホームスタッフの待遇の見直しと働きやすい環境の検討を行う。		
生活支援員の夜勤手当の増額、介護休暇の付与などを行った。有給にもすべて応じられた。		○

利用者とその家族が地域において安心して生活を送れるように、利用者・家族のニーズを受けて、障がい内容や家庭状況に応じて、居住の場から生活・余暇の支援など地域生活全般にわたり、質の高い細やかなサービスを実施します。また、法人内事業所及び他の関係機関との連携を図りながら必要な支援をします。

## ホームヘルプセンター「そら」

### 【事業の実績】

事業名		年間利用時間	対象者	評価
障がい福祉サービス	居宅介護事業 家事援助 身体介護 通院等介助	82.5時間 53.0時間 229.0時間	知的障がい者 身体障がい者 指定児童	○
	行動援護事業	996.5時間	知的障がい者 知的障がい児	○
地域生活支援事業	移動支援事業	4281.5時間 ※コロナにより大幅減	知的障がい者 身体障がい者 指定児童	△
オプション事業	移送サービス	延べ 198人	「そら」利用者	○
	タイムケア	28.0時間	「そら」利用者	○

### 【事業の実施】

事業名	サービス提供日	サービス提供時間
居宅介護事業 行動援護事業 移動支援事業	月曜日から日曜日 ただし8月13日から16日と12月29日から1月4日を除く。	6時から22時

### 【その他の事業の実施】

大項目	小項目	時期	摘要	評価
研修	ヘルパー研修	3月6日	年3回予定のところ、コロナの影響で1回しか実施できず	△
	講師派遣	12月13日	コロナにより行動援護研修の1回のみ	△
	市民向け勉強会	2月12日	2月に一般市民に障がい福祉について学んでもらう	○
会議	事務所職員会議	月1回	利用者状況把握、事業所内情報交換	○
	虐待防止会議	11月6日	虐待予防のための取り組み	○
	ケース会議	随時	困難事例にて適時開催。意見交換や相談はしているが会議の頻度は少ない	△

### 【職員配置】

職名	管理者	サービス提供責任者	常勤ヘルパー	登録ヘルパー
人数	1名(兼務)	2名	4名	30名

### 【利用契約者】

所属	法人利用者	一般成人	学齢児
人数	83名	13名	15名

## ホーム事業所「そら」

《共同生活援助事業所》利用定員40名

### 【住居の状況】

名称	事業	定員	現員	開設年度	所在地
ひいらぎホーム	グループホーム	3名	3名	平成6年度	吉川町
若草ホーム	グループホーム	5名	4名	平成9年度	若草町
池之分ホーム	グループホーム	4名	4名	平成12年度	森岡町
ひまわりホーム	グループホーム	6名	5名	平成14年度	横根町
はんつきホーム	グループホーム	10名	10名	平成18年度	半月町
みのてホーム	グループホーム	5名	5名	平成26年度	横根町
よしかわホーム	グループホーム	4名	4名	平成27年度	吉川町
くすのきホーム	グループホーム	3名	2名	平成29年度	吉川町

### 【利用者実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	37	37	37	37	36	36	37	36	36	37	37	37
開所日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
延人数	894	888	888	928	826	892	914	870	873	870	849	931

### 【日常的な事業内容】

支援内容	摘要	評価
入居者への食事の提供	平日の朝夕、週末・祝日の朝昼夕を提供する	○
金銭管理	生活費・家賃の管理	○
健康管理	法人看護師の助言を受けて日中施設と連携して把握	○
日常生活における応談・助言	必要に応じて相談を受け、施設と調整を行う	○
日常生活における介助	介助マニュアルに基づき介助	○
個別支援計画に基づく支援	アセスメントを行い利用ニーズを支援の中心に据える	○

### 【その他事業の実施内容】

大項目	小項目	時期	摘要	評価
会議	世話人連絡会議	隔月	入居者の情報交換や運営の打ち合わせ	○
	各ホーム定例報告会	隔月	各ホーム世話人が隔月で個別会議	○
	バックアップ職員会議	年3回	各施設とホームとの情報交換	○
	虐待防止会議	11月6日	虐待予防のための取り組み	○
	事務所職員会議	月1回	利用者状況把握、ホーム運営体制構築	○

研修	スタッフ研修会	12月17日	権利擁護と虐待防止について学ぶ	○
		3月17日	危険予知トレーニング	
	ホームスタッフ 現場実習	9月、1月	新規採用スタッフに対し現場実習を実施	○
	市民向け勉強会	2月12日	市民に障がい福祉について学んでもらう	○
行事	外出行事（週末行事）	年2回	コロナの影響で規模を縮小し、行き先を考慮して実施	△
	余暇行事（各ホーム）	適時	各ホーム外食や買い物など適時実施	○

【職員配置】

職名	管理者	サービス管理責任者	世話人	生活支援員	看護師
	1名（兼務）	2名	8名	18名	1名（兼務）

# 大府市発達支援センター みのり

## 【重点事項】

① 関係機関と連携しながら療育の充実を図る。	
連絡会議・ケース会議の実施・参加で情報の共有を行った。	○
② 発達に応じながら年中・年長児の単独療育を始める。	
児童の様子を見ながら、少しずつ単独時間を伸ばし実施した。	○
③ 児童の発達や保護者の意向を踏まえて進路を検討する。	
保護者と保育園や学校見学を行ったり、関係者とケース会議を行った。	○

## 《児童発達支援事業》 定員 12名/日

就学前の肢体に不自由のある児童や心身の発達が気になる児童が集団生活や地域で成長し、生活していく力を築くことができるようにご家族と一緒に考えながら支援していく。

## 【利用者実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	21	21	21	22	21	21	22	23	23	23	23	23
開所日	21	18	22	21	20	20	22	19	20	19	18	23
延人数	69	79	124	141	115	147	158	141	144	128	132	178

## 【職員配置】

管理者（常勤兼務 1名）	児童発達支援管理責任者（常勤兼務 1名）	保育士（常勤 2名）
児童指導員（常勤 1名）	作業療法士（常勤兼務 1名）	看護師（常勤 1名）
管理栄養士（常勤 1名）	調理員（非常勤 1名）	理学療法士（非常勤 3名）
言語聴覚士（非常勤 2名）	臨床心理士（非常勤 1名）	医師（非常勤 2名）

## 【日課】

9:00	10:00	10:40	11:30	12:30	14:45	15:00	16:00
個別療育	朝の会 ふれあい体操	集団療育	給食	昼寝・個別活動 おやつ	帰りの会	帰宅・個別療育	



## 【事業内容】

大項目	小項目	時期	摘要	評価
集団療育	集団活動	通年	保育士・児童指導員らによる集団活動	○
個別療育	個別機能訓練	通年	理学・作業・言語療法・心理相談	○
健康管理	健康診断	8月・3月	嘱託医が来園し実施	○
	歯科検診	12月16日	嘱託歯科医が来園し実施	○
	嘱託医巡回	通年	内科(小児)医の相談・診察等実施	○
	検温・身体測定	通年	定期的に実施し体調や成長を確認	○
式典	卒園・修了式	3月24日	みのり遊戯室にて実施	○
行事	七夕会	7月7・8日	みのり遊戯室にて実施	○
	遠足	11月5・10日	八ツ屋大池公園(大府市)にて実施	○
	夏祭り	—	コロナウィルス感染予防で中止	—
	クリスマス会	12月22~24日	みのり遊戯室にて実施	○
	まめまき会	2月2日	みのり遊戯室にて実施	○
	ひなまつり会	3月3日	みのり遊戯室にて実施	○
	誕生会	通年	みのり遊戯室にて実施	○
交流	保育園交流	—	コロナウィルス感染予防で中止	—
	地域交流	—	コロナウィルス感染予防で中止	—
懇談 家族支援	センター長懇談会	7月・1月	保護者との意見交換等	○
	個別面談	7・11・3月	個別支援計画の作成等で実施	○
研修	職員研修	通年	内部研修及び外部関係団体研修参加	○
職員会議	定例・ケース会議	通年	児童の支援・運営に関することを協議	○
給食	通常給食	通年	児童に必要な栄養・食事形態を考慮	○

## 《保育所等訪問支援事業》

地域の保育園等を訪問し、肢体に不自由のある児童や心身の発達に遅れがある児童に対して集団生活に必要な支援を行う。

## 【利用者実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
回数	0	0	0	1	1	2	2	0	0	0	0	0
人数	0	0	0	2	2	2	2	0	0	0	0	0

**【職員配置】**

管理者（常勤兼務 1 名）	児童発達支援管理責任者（常勤兼務 1 名）
作業療法士（常勤兼務 1 名）	

**《相談支援事業》 特定相談支援事業 障害児相談支援事業**

児童の発達や子育てに関する相談に応じます。また、各種福祉サービスを利用するための計画を立てます。

**【利用者実績】**

全て障害児相談 特定相談実績なし

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計画作成	2	2	1	5	1	1	3	2	1	0	0	4
モニタリング	0	1	1	4	4	8	3	5	5	3	2	9
合計	2	3	2	9	5	9	6	7	6	3	2	13

**【職員配置】**

管理者（常勤兼務 1 名）	相談支援専門員（常勤 1 名）
---------------	-----------------

**【事業内容】**

支援内容	摘要	評価
生活全般に係る相談	家族からの相談に対応	○
サービスの情報提供	サービス等に関する情報提供	○
計画作成及びモニタリング	利用計画の作成及びモニタリング	○
関係機関との調整	障がい福祉サービス等に係る機関との調整	○

# 令和2年度大府福祉会の総括

法人の運営
<p><b>【中長期総合計画の推進】</b> 6年間の中長期総合計画について前半の3年が経過したため、上半期を振り返り中間総括をまとめ、計画の見直しを行った。</p> <p><b>【経営計画の推進】</b> 計画的な財務管理を行うための経営計画を推進した。 積立金の目標金額、経常増減差額の目標値、共に達成している。</p> <p><b>【収支決算】</b> 令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、給付費収入が大幅に減少した事業があった。こうした状況の中でも、本業となる給付費を中心としたサービス活動増減差額は1,144万円となっており、安定した水準を維持している。 また、積立金については1,430万円を積み立てることができ、今後の大規模な支出に備えた資金を残していくことができた（就労支援関係積立金を除いた積立額）。</p> <p><b>【新型コロナウイルス感染症の影響】</b> 感染の拡大と緊急事態宣言発出にともない、多くの事業やイベントを中止することになった。法人内の各事業所で感染対策を実施し継続している。</p>
新たな事業に向けての取組み
<p><b>【事業の整備】</b> 新事業の（暮らしの場）の創出では今後3年間の取り組みや現在の課題の整理、今後の方向性について話し合った。既存事業（日中活動や暮らしの場）の量的拡大（定員問題）では、今後6年以内に利用者が飽和状態になることが分かった。新たな生活介護事業所の開設の必要性を時期を見て大府市と相談していく。</p> <p><b>【事業運営の強化】</b> 高齢化する利用者への支援で認知症判断テストを毎年継続的に実施し、今後起こりうる利用者の老いに対する支援に活かしていけるように確認した。令和4年4月から事業所に「虐待防止委員会」の設置と虐待防止に関する研修開催が義務化される。義務化に伴い、法人として法令に則った体制を整備していく。</p>
人材育成の取組み
<p><b>【大府福祉会人事制度ガイドブックの改定】</b> 評価制度、教育制度の見直しを実施。法人研修とともに、資格等級ごとに求められる業務一覧表も見直す。業務の習得状況の確認や、習得の保障をするため、新たに副管理者・リーダーとの面談の追加、OJTの推進などを盛り込む。2021年4月より新たな人事制度ガイドブックを活用した人材育成をスタートさせる。</p> <p><b>【大府福祉会給与規程の改定】</b> 大府福祉会職員給与規程の見直しを実施。新たな人事制度ガイドブックとリンクさせて、人事評価が給与に結びつく新たな給与規程を作成。制度の公平を図るため、外部コンサルタントを活用し第三者の視点も導入。法人の将来的な経営状況も考慮しながら改定を行う。2021年度4月より新たな給与規程をスタートさせる。</p>
地域に向けての取組み
<p><b>【地域啓発】</b> 市民向け勉強会を実施。障がいへの理解と共に取り組みを知っていただく機会を設けた。</p> <p><b>【地域交流】</b> イベント等の行事が新型コロナウイルスの影響により中止となった。これまでのイベントの実施について振り返る取り組みを法人内の全事業所で行なった。</p>